

## 旭化成グループの環境・製品・安全教育

	目的(ねらい)	教育項目(概要)
新入社員教育	1.企業人(旭マン)として必要な環境・製品・安全に関する基礎知識 2.安全基本行動、安全ルールの遵守について 3.生活習慣の変化に合わせた健康管理	労働安全衛生法に基づく「新入社員の安全衛生教育」 ●環境・製品・安全に関する社会動向 ●環境安全管理の理念と義務 ●RC活動と旭化成グループの取り組み状況 ●安全管理、衛生管理の基本 ●環境問題入門
入社後のフォローアップ教育	入社して数ヶ月、企業人(旭マン)としての生活に慣れてきた時に、入社教育のフォローを実施	●職場のRC活動 ●災害事例研究 ●健康管理
職長・マスター任命前研修	1.一線監督者として必要な環境安全上の知識 2.安全配慮義務など監督者としての責任の自覚	労働安全衛生法に基づく「職長の安全衛生教育」 ●環境・製品・安全に関する社会動向 ●RC活動 ●関係法規 ●安全管理責任、安全配慮義務 ●旭式安全技術教育(AST) ●快適職場の形成
職長・マスター任命後研修	職長・マスター任命後のフォローアップ教育	●旭化成グループ安全技術指針 ●災害事例研究
運転主任候補者研修	1.運転主任候補者として必要な保安上の知識 2.管理者としての責任の自覚 3.安全性評価手法の習得	●環境・製品・安全に関する社会動向 ●RC活動と旭化成グループの取り組み状況 ●安全管理責任、安全配慮義務 ●旭式安全技術教育(AST) ●設備の本質安全化 ●安全性評価手法 ●シミュレーターによる訓練
係員・スタッフ教育 (製造・研究開発)	1.係員・スタッフ教育(製造・研究開発) 2.係員・スタッフとして必要な環境・安全上の基礎知識	●環境・製品・安全に関する社会動向 ●RC活動と旭化成グループの取り組み状況 ●関係法規 ●環境問題概論 ●ISOマネジメントシステム
管理者教育	1.職責者として必要な環境・安全上の知識 2.職責者としての責任の自覚	●環境・製品・安全に関する社会動向 ●RC活動と旭化成グループの取り組み状況 ●安全管理責任、安全配慮義務 ●旭式安全技術教育(AST) ●環境問題概論 ●製品安全問題 ●ISOマネジメントシステム
(新任)課長研修	管理者としての責任の自覚	●安全管理責任、安全配慮義務 ●メンタルヘルス
新任部場長研修	新任部場長に望む環境・製品・安全	
一般従業員 (職場ごと、グループごと)	1.環境・製品・安全に対する感受性の向上 2.基本行動、ルール遵守する責任の自覚	労働安全衛生法に基づく教育 ●事例研究(ASTマニュアルの活用) ●安全遵守義務 ●環境問題入門